

小児歯科



虫歯になりやすい生えてきたばかりの大人の歯は、幼少期よりケアすることが大切です。

保護者へのブラッシング指導やフッ素コーティングやシーラントによる予防も行います。

★大切なのは、子供たちが歯科医院はお口をきれいにしてくれる怖くない場所だと思って通ってほしいということです。

小児歯科って大人とどう違う？

成長期にあるお子さまの顎や歯は日々成長し変化しています。その変化を踏まえた上で、お子さまにとって将来問題になることを未然に防ぎ、健全な成長をサポートするのが小児歯科治療の最大の特徴です。

小児歯科に連れていくタイミングは？

- ・ 歯並びなど、子どもの歯が気になる
- ・ 子どもが歯を痛がる
- ・ キレイに歯磨きをできているか不安

など、気になることがあれば何歳からでもOKです。

小児歯科は0歳からOKです。

ユニットではDVDでアニメを流しています。
安心して歯科デビューしましょう！

子供の歯である乳歯は、永久歯に比べてエナメル質も象牙質もやわらかいという性質があります。

そのため、むし歯になりやすく、むし歯の進行も早いという特徴があります。

初期のむし歯は歯の表面が白くなりますが、乳歯は永久歯よりも白いため、初期のむし歯を見つけにくいという特徴もあります。

お子様のお口・・・ぽかんと開いていませんか？

『お口ぽかん』と言って、3歳から12歳までの子どもの30.7%がお口ぽかんの状態であること、その有病率は年齢とともに増加すること、さらに、自然に改善することが期待しにくい習癖との結果報告があります。

何が良くないの??

治せるの??

子どものお口ぽかん（口唇閉鎖不全）は日常的に唇が開いた状態になってしまうため、お口の乾燥によりむし歯や歯肉の炎症を引き起こし、口腔内環境を悪化させます。また、唇を閉じる力（口唇閉鎖力）が弱いため、歯を取り囲んでいる唇・頬と舌の力のバランスが崩れてしまい、上の前歯が出っ歯（上顎前歯の唇側傾斜）になったり、上顎の横幅が狭く（上顎歯列弓の狭窄）なったりすることで歯並びが悪くなるものが少なくありません。さらに、アレルギー疾患を誘発する、姿勢が悪くなる、集中力が低下する等の弊害も報告されています。

（本成果は、2023年6月4日（英国時間）に国際学術雑誌「Archives of Oral Biology」に掲載されました。）

あいうべ体操

やってみよう

あ



い



う



べ



『お口ポカン』をしてしまう
原因は様々ですが。。。

『あいうべ体操』をした子どもは、唇を閉じる力が強くなり、口元が引き締まりました。

「あいうべ体操」は
お口ぽかんと解消する方法の一つとして有効です。



歯科検診行ってます



保育園、学校での検診も行っています

教員の先生方にもご協力頂き予防歯科に努めています



院長は産業歯科医です！

